平成２１年度　第９回富里市教育委員会臨時会議録

富里市教育委員会

１　期　　日	平成２１年１１月１０日（火） 開会　午前１０時３０分 閉会　午前１０時４７分	
２　場　　所	中央公民館１階小会議室	
３　出席委員	委　員　長	荒木田　直　美
	委員長職務代理者	髙　槇　弘　和
	委　員	河　田　厚　子
	委　員	武　井　勝　彦
	教　育　長	山　中　　忠
４　出席職員	教育次長	細　野　　明
	教育総務課長	南　條　正　和
	学校教育課長	山　田　眞　澄
５　事務局職員	教育総務課主幹	髙　須　利　幸
	教育総務課主査	岩　舘　宗　栄

平成２１年１１月２４日

１　委員長開会宣言

委員長　平成２１年度第９回富里市教育委員会臨時会議を開会する。

２　協議事項

（１）洗心小学校の複式学級の対応について（学校教育課）

学校教育課長　資料に基づき説明。

委員　資料中「下学年は上学年への遠慮から,同一学級の中でのびのびと生活できない子どももでてくることが予測でき，社会性やコミュニケーション能力の育成が困難な状況になります。」とあるが，この部分の表現が気になる。地元からは，そんなことはないと言われるだろうから，それに対しての回答はどんなものか。

また,「平成２２年度から平成２４年度までの３年間」の部分が少し短いと感じたが全体的にはよいと思う。

学校教育課長　教育委員会として考えている「社会性やコミュニケーション能力の育成が困難な状況になります。」とは，より多くの子どもたち，人間と接するとの意味では，現状や今後の洗心小学校の児童数からして十分に育成していくことが難しいとの意味で回答するものである。

社会性やコミュニケーション能力の育成は，初等教育では大変に重要なので地域の方には話したい。

そのことから「社会性やコミュニケーション能力の育成」については，削除できないと思うので，よい表現があればお願いしたい。

委員長　これまでの説明でもメリット・デメリットの関係で具体的な事例として言っていると思う。

教育長　「困難な」という表現が誤解を招きやすい，複式になると子どもたち同士のコミュニケーションの機会が非常に少なくなってしまい社会性やコミュニケーションが育ちにくいとの意味で「下学年は上学年への遠慮から,同一学級の中でのびのびと生活できない子どももでてくることが予測でき，社会性やコミュニケーション能力を育成することが十分でない状況になります。」ではどうか。

委員　教育長の表現でよい。

また，素人考えで下学年と上学年が一緒になれば，よりコミュニケーションをとれると思ってしまうが，実際の教育現場を長く経験した内容を丁寧に説明してもらえれば，地元も理解してもらえると思うのでよろしくお願いしたい。

委員長職務代理者　表現を少しやわらかくした教育長の表現でよい。

委員　教育長の表現でよい。

委員長　それでは，協議結果を市長に示し，その後の地域説明会の前にもう一度，議決のための会議を開催する必要はあるのか。または協議事項のままでも説明会に入っても支障はないのか。

教育次長　協議事項ではあるが皆さんの共通理解であるから，これで市長に説明し，市長の理解を得られれば，それで説明会に行ってもよいと解釈する。

委員長　協議結果の「洗心小学校の複式学級への対応に係る教育委員会としての見解」をもって市長と協議する。

3　その他

なし

4　委員長閉会宣言

委員長　これで第９回富里市教育委員会臨時会議を閉会する。